

新潟県協会の活動に 参加しよう！

新潟県中小企業診断士協会

1. 新潟県中小企業診断士協会の概要

新潟県中小企業診断士協会は、昭和36年に社団法人中小企業診断協会の新潟県支部として設立され、平成24年に一般社団法人新潟県中小企業診断士協会（以下、当協会）に改組し、現在に至っています。

会員数は、平成31年3月31日現在で88名（うち正会員86名、賛助会員2名）。会長以下、副会長2名、専務理事1名を含む理事14名と監事2名で理事会を構成し、役割と責任を明確にした組織体制を採っています。

組織風土は風通しが良く、会員同士のコミュニケーションも活発です。新入会員であっても、受託事業、研究会活動、委員会活動等で活躍の機会を与えられますので、先輩会員のサポートを受けながら、診断士活動のスタートを踏み出すことができます。

2. 受託事業

主として、以下の事業を行政機関、支援機関、金融機関等から受託し、遂行しています。担当は公募で希望者を募り、公正な基準によって選任されます。

(1) 起業・創業支援

創業を目指す方に、事業計画・資金調達・販路開拓等、基礎的な知識から実践的な対策

まで一貫したフォローアップを行います。

(2) 事業再生・経営改善計画策定支援

事業デューデリジェンスにより企業の事業実態を把握し、事業の将来性を見極めます。そして、現状の問題点の抽出および課題設定を行い、課題解決策の検討や事業の方向性に関する提言をします。過剰債務に悩む中小企業に対して、多面的に事業再生の可能性を検討し、経営改善計画の策定を支援します。

(3) 講師派遣

各種団体・組合等が主催する講演会、セミナーに講師を派遣しています。依頼ニーズに合致した高い専門知識を有する会員を選定し、講師として派遣します。

(4) 経営診断・専門家派遣

行政機関、支援機関、金融機関等からの依頼に基づき、中小企業の経営状況を事業や財務の視点から総合的に診断し、改善につながる提案を行います。また、中小企業の個別具体的な経営課題に対応できる専門家を派遣し、経営課題の解決を図ります。

3. 研究会・同好会活動

会員のコンサルティング能力の向上、会員相互のコミュニケーションの場づくり、およびネットワークの構築を目的として、以下の

研究会・同好会活動を行っています。

(1) 企業再生支援研究会

各分野の専門家や外部団体等から講師をお招きし、企業再生に関する知識習得やスキルアップに努めています。また、研究会会員が研究成果を発表する機会もあります。



企業再生支援研究会の様子

(2) 事業承継研究会

近年、社会問題化しつつある事業承継に対するコンサルティング能力の向上と、中小企業診断士の職域開拓を目指す研究会です。外部講師による講義と研究会会員による発表が主な活動内容です。

(3) 診断士になりたい人を支援する会

中小企業診断士を目指す人たちとの接点の場を設けることを目的とした同好会です。診断士2次試験の解き方を研究する勉強会や懇親会等を定期的に開催しています。

(4) 青年部会

若手診断士を中心に組織され、会員が持ち回りで講師を務める勉強会を実施し、知識の向上を図っています。講師にとってはプレゼンテーションの経験を積む場ともなります。また、懇親会も活発に行い、交流を深めています。

4. 研修活動

(1) 経営診断実務実習

企業内診断士の学習と実践経験創出のため、企業を訪問し経営診断を行う実務実習の機会を設けています。もちろん、実務ポイントを獲得できます。

(2) 理論政策更新研修

年2回、新潟市と長岡市の会場で、理論政策更新研修を主催しています。各回とも、募集後すぐに満席となるほどの人気です。

5. 「中小企業診断士の日」イベント

毎年11月に「中小企業経営シンポジウム in 新潟」と題し、著名な経営者を講師に迎えて基調講演にご登壇いただくほか、会員が講師を務める3つの分科会を開催しています。会員だけでなく、関係団体からも大勢にご参加いただき、好評を博しています。



「中小企業経営シンポジウム in 新潟」の様子

6. おわりに

近年、中小企業診断士に対する期待は、ますます高まっています。当協会はこれからも中小企業の振興に鋭意取り組んでまいります。一緒に汗をかきながら、成長し合える仲間を随時募集しています。